

試験ブループリントガイド

Nutanix認定プロフェッショナル データベースオートメーション (NCP-DB) 7.5試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	4
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	5
2. 対象者	6
3. NCP-DB 7.5試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - NDBソリューションのデプロイと構成をする	7
セクション2 - NDB実装内のアラートとストレージ使用状況をモニタリングする	9
セクション3 - NDB環境の運用と保守をする	10
セクション4 - NDB環境の管理をする	14
4. NCP-DB 7.5トレーニングの推奨事項	18
4.1 コースの推奨事項	18
5. リソース	19
5.1 Nutanix Community Edition	19
5.2 テストドライブ	19
5.3 Nutanix Community	19
5.4 データベースオートメーションに関する追加リソース	19

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Ashish Sharma サービスプロバイダーソリューションアーキテクト

Boris Kalavsky シニアスタッフコンサルタント

Daljit Singh スタッフデータベースエンジニア

Jérémie Moreau スタッフコンサルティングアーキテクト

Jeremy Launier シニアプリンシパルPM II

Lev Goronshtein アドバイザリーシステムエンジニア

Magnus Andersson プリンシパルソリューションアーキテクト

Mike Matthews アドバイザリーソリューションアーキテクト

Rajneesh Mishra シニアデータベースコンサルタント

Robbi Richmond アドバイザリーソリューションスペシャリスト

Sunny Kichloo コンサルティングアーキテクト

Varun Verma スタッフソリューションアーキテクト

Venu Vuppalapati プリンシパルプラクティスリード

免責事項:

Nutanix認定プロフェッショナル - データベースオートメーション (NCP-DB) 7.5試験ブループリントガイドは、NCP-DB 7認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-DB 7認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - データベースオートメーション (NCP-DB) 7.5試験は、Nutanixデータベースサービス (NDB) を使用したデータベースワークロードのデプロイと、管理、最適化、およびトラブルシューティングを実行する受験者の能力を評価します。

1.2 問題数

NCP-DB 7.5 試験は、50問の多肢選択式および複数回答式の問題で構成されています。

1.3 受験料

NCP-DB 7.5試験の受験料は、200米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanixマルチクラウドプラットフォーム環境のデプロイおよび管理に関連して特定されたタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

NCP-DB 7.5試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面試験を選択した場合は、お近くの試験会場を選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-DB 7.5試験は、Nutanixデータベースオートメーショントラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-DB 7の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。各受験の間には7日間の待機期間が必要です。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。これには、試験資料の複製および再配布、試験中のあらゆる種類の学習資料の使用、試験問題の撮影の試み、および虚偽の身元での受験が含まれます。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - データベースオートメーション 7.5試験に合格し、NCP-DB 7認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス

- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-DB 7.5試験およびNCP-DB 7認定資格は、約1～2年のデータベース実務経験があり、そのうち少なくとも6カ月はNutanixプラットフォーム（オンプレミスおよびパブリッククラウド）でのNDB実務経験がある方を受験対象者として想定しています。

データベースの管理者または開発者や、自動化エンジニア、NDB関連業務を行うNutanixチャネルパートナーの担当者、Nutanixプラットフォーム（オンプレミスおよびパブリッククラウド内）でデータベースを管理するNutanix OEMベンダーの担当者などが一般的な合格者となっています。

合格者は、データベースのプロビジョニングと、パッチ適用、保護、およびクローン作成を適切に実行できる必要があります。加えて、NDBのデプロイおよび構成と、データベースおよびデータベースサーバーVMの登録、データベースの復元、そして新しいNDBプロファイルの作成もできる必要があります。

Nutanixデータベース管理およびオートメーション（NDMA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-DB 7.5試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、Nutanix認定プロフェッショナル - データベースオートメーション7.5試験を受験する前に、データベースのプロビジョニングと、パッチ適用、保護、クローン作成、NDBのデプロイおよび構成、データベースおよびデータベースサーバーVMの登録、データベースのリカバリ、そして新しいNDBプロファイルの作成に必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-DB 7の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- Nutanixデータベースサービス（NDB） : 2.10
- Prism Central : バージョンpc. 7.5

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - NDBソリューションのデプロイと構成をする

目標1.1 : NDB VMのデプロイをする

知識

- インストールウィザードのダウンロードと、インポート、作成、および実行をする
- ネットワーク設定の決定と構成をする
- コンソールを使用してNDB VMに静的IPアドレスを割り当てるタイミングと方法を決定する

参考資料

- [NDBウィザードへようこそ](#)
- [NDBネットワークの要件](#)
- [AHVにおけるNDBのインストール](#)
- [Flowの仮想プライベートクラウドサブネットへのNDBのデプロイ](#)

- [コンソールを使用したNDB VMへの静的IPアドレスの割り当て](#)

目標1.2 : NDBインスタンスの構成をする

知識

- NDBにログインする
- 基本的な構成を実行する
 - 言語設定の変更をする
 - SSL証明書の構成をする
 - NDBサーバーのCLIからNTP/DNSを変更する
 - SMTPの構成をする

参考資料

- [NDBへのログイン](#)
- [言語設定の変更](#)
- [SSL証明書の構成](#)
- [NTPサーバーの構成](#)
- [DNSサーバーの構成](#)
- [メール受信者へのアラート通知の送信](#)

目標1.3 : NDBの高可用性機能のデプロイと構成をする

知識

- NDBの高可用性機能をデプロイする
- 高可用性機能を構成する
- サービスの回復力について議論する
- マルチクラスタを有効化する

参考資料

- [NDBのサービス管理](#)
- [NDBのための高可用性機能の有効化](#)
- [NDBサービスの回復力](#)

- [NDBのマルチクラスタの有効化](#)

セクション2 - NDB実装内のアラートとストレージ使用状況をモニタリングする

目標2.1 : アラートを管理する

知識

- アラートをモニタリングする
- アラートを解決する
- アラートポリシーを管理する
- アラート保持を構成する

参考資料

- [アラートダッシュボードを使用したアラートのモニタリング](#)
- [アラートの解決](#)
- [アラートポリシーの有効化または無効化](#)
- [アラート保持の設定](#)

目標2.2 : ストレージ使用状況のモニタリングと管理をする

知識

- データベースソースとクローンサイズの特定をする
- データベースのストレージ効率をモニタリングする
- スナップショットの数とサイズをモニタリングする
- データベースのためにストレージをスケールまたは拡張する
- ストレージの使用状況をモニタリングするためにTime Machineのダッシュボードを活用する

参考資料

- [NDBのダッシュボード](#)
- [クローンの管理](#)
- [スナップショットの管理](#)
- [スナップショットの保持とプロモーション](#)
- [SQL Serverデータベースのスケールリング](#)

- [Oracleデータベースのスケーリング](#)
- [Time Machineの動作と機能](#)

セクション3 - NDB環境の運用と保守をする

目標3.1 : データベースサーバーVMとデータベースの登録をする

知識

- 前提条件の検証をする
 - WindowsまたはLinuxのVMを検証するためのスクリプトをダウンロードする
 - Nutanixのリリースノートを参照してサポート対象であることを確認する
- OSとデータベースインスタンスの認証情報を提供する
- 登録するNutanixクラスタを選択する
- データベースインスタンスを発見する
- 1つ以上のデータベースを選択する
- データベースに接続するための認証情報を提供する
- NDB vs サードパーティのバックアップを使ってログの管理をする

参考資料

- [NDBの前提条件](#)
- [前提条件スクリプトの実行 \(Linux\)](#)
- [MongoDBのデータベース登録の前提条件](#)
- [NDBを用いたNutanixクラスタの登録](#)
- [データベースサーバーのクラスタの登録](#)
- [Nutanix Objectsを使用するデータベースの登録](#)
- [データベースの登録](#)
- [データベースログの管理](#)

目標3.2 : データベースのプロビジョニングをする

知識

- データベースエンジンの選択をする

- シングルインスタンスまたはHAインスタンスを選択する
- プロビジョニングするNutanixクラスタを選択する
- プロファイルを選択する
- データベースの名前とサイズを提供する

参考資料

- [データベースのプロビジョニングの開始](#)
- [SQL ServerのvSingle NodeデータベースサーバーVMのプロビジョニング](#)
- [グループとしてのSQL Serverデータベースのプロビジョニング](#)
- [MySQLのHAインスタンスのプロビジョニング](#)
- [PostgreSQLデータベースのプロビジョニング](#)
- [MongoDBデータベースのプロビジョニング](#)
- [Oracleデータベースのプロビジョニング](#)
- [OracleのPDBおよびCDB](#)
- [SQL Serverデータベース用のカスタムドライブレターの構成](#)

目標3.3 : NDB管理対象エンティティにパッチを適用する

知識

- メンテナンスウィンドウの作成と関連付けをするタイミングと方法を決定する
- パッチ適用を実行する
- ソフトウェアプロファイルのバージョンを作成する
 - イメージベース
 - 増分パッケージ
- ソフトウェアプロファイルのバージョンを公開する
- ベンダー固有のプロセスに従ってパッチをテストする
- パッチを適用する
 - 即時
 - スケジュール
 - メンテナンスウィンドウ

参考資料

- [メンテナンスウィンドウ](#)
- [オペレーティングシステムのパッチ適用](#)
- [MongoDBサーバーVMのオペレーティングシステムのパッチ適用](#)
- [ソフトウェアプロファイルのバージョンの作成](#)
- [NDBエンティティの共有](#)
- [OracleデータベースサーバーVMのパッチ適用](#)
- [ワンクリックパッチ適用](#)
- [MongoDBサーバークラスタのパッチ適用](#)

目標3.4 : NDBの操作に関するトラブルシューティングをする

知識

- [アラートの分析をする](#)
- [操作ログのレビューと解釈をする](#)
- [診断バンドルを生成する](#)

参考資料

- [NDBアラートの管理](#)
- [NDBの操作ログ](#)
- [NDBのUIを使用した診断バンドルのダウンロード](#)
- [NDBのCLIを使用した診断バンドルのダウンロード](#)
- [NDBのシャットダウン](#)
- [DBサーバーVMのプロビジョニング失敗のトラブルシューティング](#)

目標3.5 : データベースをクローンする

知識

- [クローンのためのビジネス要件を決定する](#)
- [クローンを作成する](#)
 - [既存のVMを認可する](#)

- 作成前スクリプトおよび作成後スクリプトを構成する
- クローンのためのターゲットVMを決定する
- 手動スナップショットまたはポイントインタイム（PIT）から作成する
- リモートクラスタからクローンする
- クローンをリフレッシュする
 - リフレッシュスケジュールを管理する
 - 手動リフレッシュを実行する

参考資料

- [データベースのクローンのリフレッシュ（手動）](#)
- [データベースのクローンの作成](#)
- [単一ノードデータベースのクローンの作成](#)
- [データベースグループのクローンの作成](#)
- [データベースのクローンのアップデート](#)
- [データベースのクローンの削除（手動）](#)

目標3.6：ソースデータベースをリストアする

知識

- スナップショットからリストアする
- ポイントインタイム（PIT）にリストアする
- リモートクラスタからリストアする

参考資料

- [NDBの高可用性機能](#)
- [Oracleデータベースのディザスタリカバリ](#)
- [Oracleデータベースのリストア](#)
- [SQL Serverデータベースのリストア](#)
- [PostgreSQLインスタンスのリストア](#)

目標3.7 : Time Machineを管理する

知識

- Time Machineの要件を決定する
 - スナップショットの数を決定する
 - スケジュール保持ポリシーを決定する
 - ポリシーに基づいてストレージ要件を決定する
- カスタムSLAを作成する
- データアクセス管理（DAM）ポリシーの管理をする
 - データアクセス管理ポリシーの作成をする
 - スナップショットとログをリモートクラスタにレプリケーションする
- データベースを保護する
 - SLAをデータベースに適用する
 - 手動スナップショットを作成する

参考資料

- [NutanixデータベースサービスのTime Machine](#)
- [Time Machineの動作と機能](#)
- [Time Machineの有効化](#)
- [SLAの管理](#)
- [データアクセス管理（DAM）](#)
- [Time Machine用のデータアクセス管理ポリシーの構成](#)
- [スナップショットの作成（手動）](#)

セクション4 – NDB環境の管理をする

目標4.1 : NDBプロファイルを管理する

知識

- プロファイルを作成する
 - ソフトウェア
 - コンピュート
 - ネットワーク

- データベースのパラメータ
- Windowsドメイン
- プロファイルのステータスを管理する
- OOBソフトウェアのプロファイルを特定する
- ソフトウェアのプロファイルをリモートクラスタにレプリケーションする

参考資料

- [ソフトウェアプロファイルの作成](#)
- [コンピュートプロファイルの作成](#)
- [ネットワークプロファイルの作成](#)
- [データベースのパラメータプロファイルの作成](#)
- [Windowsのドメインプロファイルの作成](#)
- [ソフトウェアプロファイルのレプリケーション](#)

目標4.2 : NDBソフトウェアのアップグレードを実行する

知識

- NDBをアップグレードする
- NDBの手動アップグレードを実行する

参考資料

- [NDBのアップグレードの要件](#)
- [NDBのアップグレード（ワンクリックアップグレード）](#)
- [NDBのアップグレード（オフラインアップグレード）](#)

目標4.3 : NDBにNutanixクラスタを追加する

知識

- 前提条件の検証をする
- クラスタを登録する
- ストレージコンテナの構成をする

参考資料

- [NDBの前提条件](#)
- [NDBのマルチクラスタの有効化](#)
- [NDBを用いたNutanixクラスタの登録](#)

目標4.4 : NDBでネットワークを管理する

知識

- NDB管理ネットワークを使用するタイミングを決定する
- NDB管理ネットワークを作成する
- VLANを追加する

参考資料

- [NDBネットワークの要件](#)
- [ネットワークの配置](#)
- [Flow Virtual Networkingを使用したNDB](#)
- [NDBへのVLANの追加](#)
- [NDBへのストレッチVLANの追加](#)

目標4.5 : アクセス制御を管理する

知識

- Active Directoryと統合する
- 権限とロールを管理する
 - カスタムロールを作成する
 - ユーザーとグループをマッピングする
 - ユーザーとグループを作成する
 - エンティティを共有する

参考資料

- [Active Directoryのアクセスの構成](#)
- [ロールベースのアクセス制御](#)
- [特権と権限](#)
- [ユーザーの追加](#)
- [ユーザーのロールの閲覧](#)
- [グループの追加、アップデート、および削除](#)
- [NDBエンティティの共有](#)

目標 4.6 : NDBのAPIとエンドクライアントを使用する

知識

- [適切なツールを選択する](#)
- [API同等ボタンを使用する](#)
- [CLIを使用する](#)
- [APIを使用する](#)

参考資料

- [NDBのAPIの仕様](#)
- [API同等ボタンの使用](#)
- [NDBのGUIとCLI](#)

4. NCP-DB 7.5 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

コースの詳細は以下のとおりです。

Nutanix®データベース管理 (NDMA) コースでは、Nutanixデータベースサービス (NDB) のインストールと、構成、操作、および管理に必要なスキルを学習します。

NDMAのコースでは、以下のような多くのテーマを学びます：

- サービスとしてのデータベース (DBaaS) の内容と、方法、理由、および利点。
- コピーデータの管理や、Time Machine、プロビジョニングプロファイル、およびデータアクセス管理といったNDBの重要な用語と概念。
- ロールベースのアクセス制御 (RBAC) の実装 (組み込みおよびカスタムのロールとの連携や、ユーザーおよびグループの管理を含む)。
- NDBへの複数のクラスタの追加と、Nutanix Guest Toolsとの連携、およびNDBへのNutanixクラスタの登録。
- アラートポリシーと、通知、およびログ収集を使用したNDBに関する問題の監視および調査。
- スナップショットの作成や、データベースのクローン作成、ログキャッチアップ操作、クローンのリフレッシュ、およびソースデータベースの復元など、データベースの保護と復元に関わる操作。

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 データベースオートメーションに関する追加リソース

その他のデータベースオートメーションに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2026 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc. の登録商標または商標です。

本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。